

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(1)-ア	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進	施策	① 県民一体となった健康づくり活動の促進
			施策の小項目名	○食育の推進
主な取組	食育の推進		実施計画記載頁	85
対応する主な課題	①健康づくりのための取組を効果的に進めるためには、主体となる県民一人ひとりが健康の大切さを自覚し行動することが重要であると同時に、社会全体としても健康づくりを支援していく必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
近年の食に関する諸課題の解決のため、学校給食指導者、栄養教諭、学校栄養職員等の研修会等を実施し、学校における食育の推進に関わる関係者の資質の向上を図る。		21回/年 研修会等 開催数				→
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	教育庁保健体育課		【098-866-2726】		食育担当教諭等を対象とした研修等の実施、学校給食指導の実施等	

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名 学校給食研修事業費							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
主な財源	実施方法	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	○H30年度: 学校における食育推進のため、栄養教諭、学校栄養職員等の研修会を41回実施した。 ○R元(H31)年度: 学校における食育推進のため、栄養教諭、学校栄養職員等の研修会を21回実施する。
県単等	直接実施	1,363	1,480	1,608	1,394	1,565	1,564	県単等	

  

予算事業名 学校給食事業費							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
主な財源	実施方法	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	○H30年度: 衛生管理の徹底を図るため、23カ所の県立学校調理場での拭き取り検査と、講習会を2回、食育推進のため学校給食指導者研修会を6回実施した。 ○R元(H31)年度: 学校給食の衛生管理の徹底を図るため、23カ所の県立学校調理場での拭き取り検査、講習会を2回、学校給食指導者研修会を6回実施する。
県単等	直接実施	527	573	474	597	744	721	県単等	

様式1(主な取組)

活動指標名	研修会等開催数				H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	36回	36回	38回	45回	41回	21回	100.0%	2,309	順調	学校給食指導者研修会では、児童生徒と給食をともに食する学級担任や給食主任を対象に、食育の推進、給食配膳室や教室での衛生管理、アレルギー対応等の内容で研修を実施した。食物アレルギーの対応については、各種研修会において、「学校における食物アレルギー対応の手引」の活用の周知を行った。
活動指標名	—				H30年度					
実績値	—	—	—	—	—	—	—			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
	—	—	—	—	—	—	—	2,309	順調	栄養教諭や学校栄養職員、学級担任等を対象に、食育の推進や食物アレルギーへの対応等の内容で計画を上回る41回の研修会を実施した。食に関する指導の全体計画については、全ての学校で作成されている。また、「学校における食物アレルギーの対応の手引」を活用している学校は約8割で、アナフィラキシーショックを起こした場合でも、エピペンを使用するなど、適切な対応ができています。
活動指標名	—				H30年度					
実績値	—	—	—	—	—	—	—			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成30年度の取組改善案						反映状況				
<p>①各種研修会において、副読本の活用や家庭・地域との連携の実践例を共有し、各学校における食育の推進して、朝食摂取率の改善等、実践力の向上を図る。</p> <p>②各種研修会において、「学校における食物アレルギー対応の手引」や「学校給食における管理・指導の手引」の活用を周知し、食物アレルギーへの適切な対応や、学校給食への異物混入及び食中毒の防止を図る。</p>						<p>①学校給食指導者研修会において、各学校における食育の実践や食育学習教材(副読本)活用事例の発表を通して活発な情報交換が行われ、各学校における食育の推進や課題解決の方法が共有できた。(副読本活用率 平成31年2月1日現在77.5%)</p> <p>②栄養教諭・学校栄養職員等研修会において、学校における食物アレルギー対応の手引の活用周知と、専門医による講義を実施し、栄養教諭等の資質向上を図った。</p>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

#### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

##### ○内部要因

##### ○外部環境の変化

・厚生労働省の2015年都道府県別平均寿命で、沖縄県は女性が前回調査の3位から7位へ、男性が30位から36位へと後退した。

・男性の肥満者の割合は、20代では約2割と全国とほとんど変わらないが、30代では約4割と全国より高く、その後各年代層を通して全国より高い。女性は20代で約2割となり全国より高く、その後各年代層を通して全国より高い。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・各種研修会において、副読本の活用事例の紹介や保護者への食育の啓発、家庭・地域と連携した取り組み等を紹介し、家庭や地域と連携した食育の推進を図り、朝食摂取率の改善等、実践力の向上を図る必要がある。

・衛生管理の一環として、「学校給食における管理・指導の手引」の活用を周知し、学校給食への異物混入および食中毒の防止に努める必要がある。

### 4 取組の改善案(Action)

・各種研修会において、副読本の活用や家庭・地域との連携の実践例を共有し、各学校における食育の推進して、朝食摂取率の改善等、実践力の向上を図る。

・各種研修会において、「学校における食物アレルギー対応の手引」や「学校給食における管理・指導の手引」の活用を周知し、食物アレルギーへの適切な対応や、学校給食への異物混入および食中毒の防止を図る。



様式1(主な取組)

活動指標名	食に関する指導の全体計画の作成				H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	—	—	75.0%	0	概ね順調	「高校生の食育推進モデル事業」に係るBDHQ栄養調査報告書を作成・配布した。 ※BDHQ調査とは、通常の食事から習慣的に摂取している栄養素量を、比較的簡便に調べる調査。
活動指標名					H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
									進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 「高校生の食育推進モデル事業」に係るBDHQ栄養調査報告書を作成・配布し、各学校へ指導計画の作成を促したことから、概ね順調とした。 県内高等学校において、食に関する指導の全体計画が作成されていない学校へ、今後、各学校における「食に関する指導の全体計画」の作成を促し、作成状況等の調査を行う。	
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成30年度 of 取組改善案								反映状況		
①「高校生の食育推進モデル事業」に係るBDHQ栄養調査報告書を参考に、本県高校生の食の実態を把握するとともに各学校における食に関する指導の全体計画を作成して、計画的な食に関する指導の充実を図る。								①「高校生の食育推進モデル事業」に係るBDHQ栄養調査報告書を配布し、食に関する指導の全体計画作成を促した。		



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

#### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

##### ○内部要因

・高校では学校給食を実施していないため、栄養教諭等の配置がなく、食育は体育科や家庭科等の関連教科が中心である。そのため、食に関する指導が十分行われていない状況がみられる。

##### ○外部環境の変化

・国の第3次食育推進基本計画では、これから親になる若い世代のを中心とした食育の推進を重点課題の一つとするとともに、子どもから高齢者に至るまで、生涯を通じた取り組みを目指している。

・県内の高校生の朝食欠食率は23.6%(H30)と小中学生に比べて高い。生活習慣の乱れなどが原因の一つとして考えられる。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・高校生の朝食摂取率を改善するためには、「高校生の食育推進モデル事業」に係るBDHQ栄養調査報告書をもとに各学校における食に関する指導の全体計画を作成し、計画的・継続的な食に関する指導が必要である。



### 4 取組の改善案(Action)

・「高校生の食育推進モデル事業」に係るBDHQ栄養調査報告書を参考に、本県高校生の食の実態を把握するとともに各学校における食に関する指導の全体計画の作成を促し、計画的な食に関する指導の充実を図る。